

(氏名) 黒川基裕	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>1.1. 研究成果</p> <p>今年度より、日本学術振興会・科学研究費・基盤研究 (C)「東南アジア地域におけるデザインのローカライズ研究—嗜好の相違と日系企業の対応」を開始した。本研究は、前年度までの研究テーマを引き継ぐ部分を持ちながら、新興国に進出しようとする日系企業などのローカライズ活動によりウェイトを置いたものである。最終的には、ローカライズのモデル化、マニュアル化を目指しているが、その前段階として、1. 東南アジア各国における消費者行動の相違点の抽出、2. クリエイティブ産業振興の地域経済効果の推計、に取り組んだ。それらの研究成果の一部は、下記の学会報告にまとめられた。</p> <p>Kurokawa, M. (2017) <i>“Differentials in consumer's preference among Asian nations and Product Localization Presentation”</i>, The 10th International Convention of Asia Scholars (ICAS-10), Thailand</p> <p>Kurokawa., M. (2017) <i>“Creative industry development and inclusion of regional economy”</i>, The 3rd International Conference on Public Policy (ICPP-3), Singapore</p> <p>継続して研究テーマとしている産業デザイン人材の育成研究としては、既存製品をベースとした商品企画・製品開発の能力構築につながるものとして、折り紙を用いた VE (Value Engineering) 教育の教材開発に取り組んだ。これは、折り紙で作製したスマートフォンスタンド、財布、カードケースなどをベースとし、コスト削減などの課題を与え、設計変更に取り組むなかで VE の基本原則を習得するというものである。</p> <p>この教材開発の成果は、日本学術振興会・科学研究費・基盤研究 (B)「アジア後発工業国における人材育成：生産管理知識・スキルの習得と職場への移転」の枠組みで開催された研究会において、下記の通り報告された。</p> <p>Kurokawa, M. (2018) <i>“Introduction to Value Engineering with A4-sized sheet, Inspiration by Japanese Origami”</i>, The 3rd workshop on Human resource development in Asian late industrialized countries: Learning of production management knowledge/skills and its transfer to workplace, Vietnam</p> <p>1.2. 社会貢献</p> <p>研究室生を中心とした BOP 製品の商品企画プロジェクトは 3 年以上の継続となったが、本年はクッキングストーブのプロジェクトにおいて大きな進捗がみられた。昨年度までは、アフリカ地域での導入としていたものをミャンマーに新たなプロジェクトサイトを開発し、導入技術についてもロケットストーブの原理をベースとしてプロトタイプ作製を加速化させた。また、導入国にあるヤンゴン経済大学と共同研究体制を構築し、</p>	

<p>フィールドワークを円滑に進められるようにした。</p> <p>結果として、プロジェクトは潜在需要調査の完了（2017年9月）、普及活動の試行、実証実験の開始（2018年1月）に到達し、今後の事業化に大きく近づいた。</p> <p>1.3. 教育</p> <p>演習でのワークショップ教材について、VE教育に係るもの、アイデア創造・マネジメントに係るものを開発し、導入を開始した。また、初年次ゼミでは、商品企画実習の簡便版を試験的に導入した。</p>
<p>2 その他の事項</p> <p>学内委員としては、広報室委員を担当した。</p>
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>東南アジアの国別消費者行動については、まだ解析できていないデータもあるため引き続き作業を進めて公表を目指す。また本年度にカバーできなかったカンボジア、マレーシアについても調査を企画してみる。</p> <p>ミャンマーのクッキングストーブ案件については、引き続き商品企画・開発を推進し、改良モデルのプロジェクトサイト導入を目指していく。</p>